

# “私たちの”支えあいプラン

## 第4期 柏市地域健康福祉活動計画

『だれもが、その人らしく、住み慣れた地域で、共に、いきいきと暮らせるまち 柏』を目指して



柏市社会福祉協議会では、「私たちの”支えあいプラン(第4期柏市地域健康福祉活動計画)」を策定しました。この計画では、4つの計画を掲げ“つながり”と“支えあい”のあるまちづくりを進め、地域共生社会を実現するために7つの取り組みを掲げました。計画の策定にあたっては、地域活動者や福祉関係者の代表者等で構成された「柏市地域支えあい推進協議会」で協議を重ねました。

計画期間は、平成31(令和元)年度から令和6年度までの6年間です。この計画の趣旨をご理解いただき、みんなで一緒に『だれもが、その人らしく、住み慣れた地域で、共に、いきいきと暮らせるまち 柏』を目指しましょう!



## 地域共生社会の実現に向けての“7つの取り組み”

### 取り組み 1 “我が事の意識”での地域活動への参加

市民一人ひとりが、町会・自治会やボランティア等、様々な地域活動に参加すること。また、地域の課題を“我が事”として捉え、支えあいや助けあい活動の“担い手”になること。そして、地域活動に参加・協力しやすい環境や機会、しくみをつくり、誰もが気軽に活動に参加できる地域を目指します。

### 取り組み 2 情報の発信と積極的な共有

市民一人ひとりが、アンテナを高くし、積極的に情報を発信し、取得すること。そして、誰かにとって良い情報は、積極的に伝え、共有しあうこと。必要な人に必要な情報が届き、サービスの利用や新たな活動等につながる地域を目指します。



### 取り組み 3 誰もが集える居場所づくり

身近な場所に、子どもや若者、高齢者、障害者等、誰もがいつでも集える居場所があることで、様々なつながりや楽しみ、新たな発想や活動の誕生が期待できます。身近な場所に誰もが集える居心地の良い居場所がある地域を目指します。

### 取り組み 4 孤立・孤立感のない地域づくり

孤立や孤立感は、世代や境遇を問わず、誰もが感じ、陥る可能性のある社会的で身近な福祉課題です。一人ひとりが、人と人とのつながりを意識し、自分自身を含めたすべての人が、孤立しない、孤立感を抱かない地域を目指します。

### 取り組み 5 困りごとを支えあうしくみづくり

制度では解決できない日常生活上のちょっとした困りごとを、我が事として捉え、市民一人ひとりが出来ることを、出来る範囲で支えあうこと。地域の中に支えあう人としくみがあり、助けあい・支えあいにあふれた地域を目指します。

### 取り組み 6 ゆるやかで幅の広い多様な連携と協働

“福祉”という狭い分野に捉われることなく、分野を超えて様々な個人や団体とのゆるやかな連携や協働からは、新しい発想や豊かな活動が生まれます。また、効率的で効果的な側面も期待できます。あらゆる場面でゆるやかで幅の広い多様な連携と協働にあふれる地域を目指します。

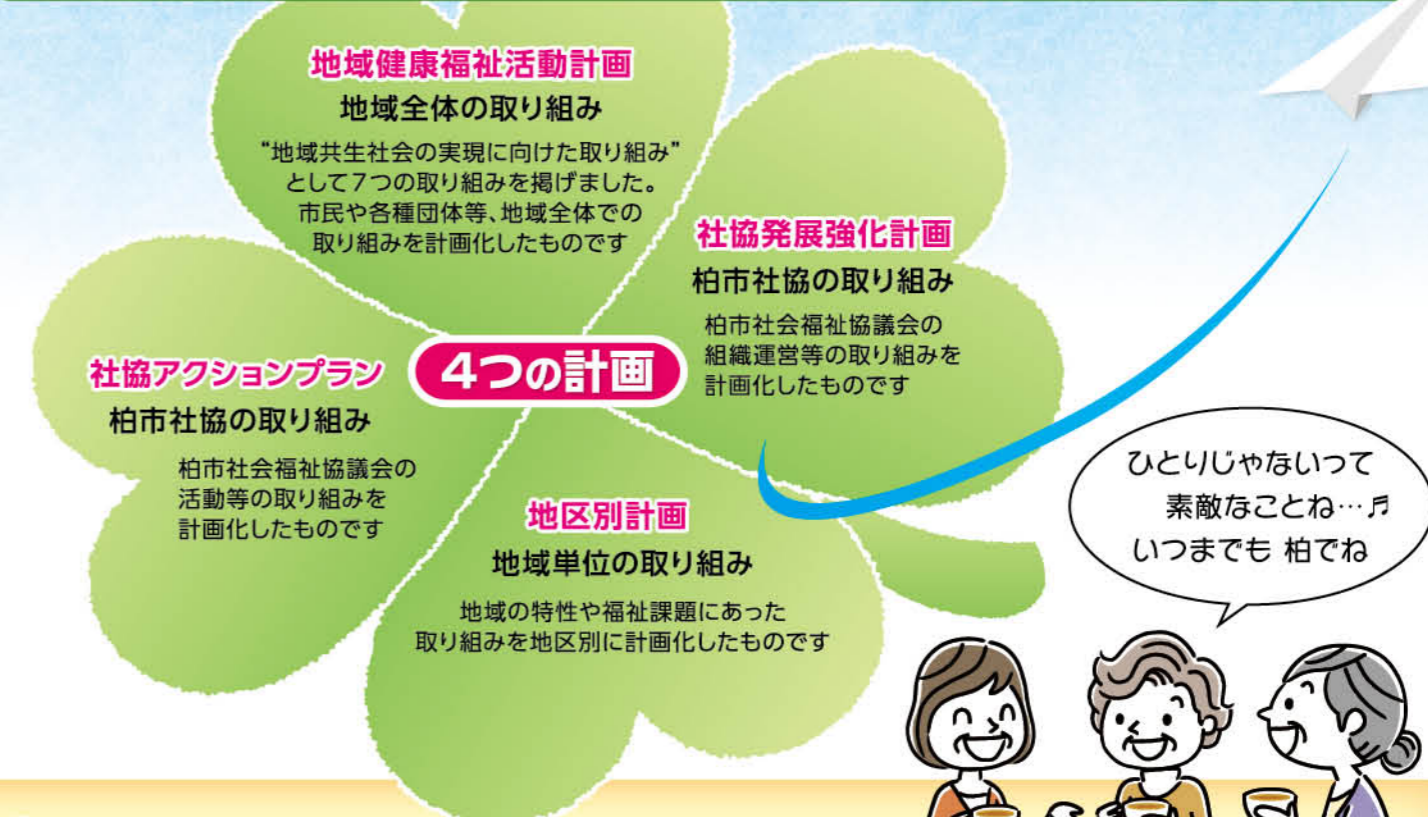
### 取り組み 7 地域を支える新たな財源の普及と活用

遺贈や目的型の寄付、ネット募金の活用にもみる多様なファンドレイジング等、様々な寄付の方法や活用のしくみがあります。積極的な地域活動等への寄付や多様な財源確保のしくみのある地域を目指します。

#### 地域共生社会とは

制度・分野ごとの「縦割り」や“支え手”と“受け手”という関係を超えて、市民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、市民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことを言います。

地域や個人が抱えている生活問題を他人事として考えるのではなく、市民一人ひとりが、自分自身と関係のあること(我が事)として捉えること。そして“支え手”も“受け手”であり、“受け手”も時に“支え手”であるという、お互いがお互いに支え、支えられる関係やしくみをつくり、地域や個人の課題を地域全体で解決する“地域の力”を高めていこうというものです。



ひとりじゃないって  
素敵なことね…  
いつまでも 柏でね

